

# 特にご説明いただきたい内容

- 現在、確立・普及しているモーター・バッテリー（市販品等）を活用した電動航空機の最大離陸重量や航続距離（時間）は、どのくらいか。将来どの程度まで拡大すると予想するか。
- 小型電動航空機と大型電動航空機でそれぞれどのような生産技術（製造技術含む）が必要になるのか。（電動航空機のペイロード重量や航続距離を引き上げていくためには、どのような生産技術（品質・加工）が必要になるのか等。）
- 大型電動航空機の開発に当たり、搭載するモーター、バッテリーについて、どのように選定するのか（市販品なのか、市販品をカスタマイズしたものなのか、特注品なのか）。
- 電動航空機を製造・修理するにあたり、どのような工程を経ているか。また、どのような工作・検査設備及び部品を使用しているか。
- その他、円滑な事業活動を推進する観点から、制度の改善をすべき点はあるか。新たな製造機器や製造手法、検査機器や手法を含め特定機器、特定設備の対象について等
- 電動航空機用のモーター・バッテリー等について、例えば自動車用等其他用途と技術的相違点があるか。ある場合、どのような点で違うか。
- 製造するに当たり、どのような工作・検査設備を使用しているか。
- 無人機の導入時期と導入規模（1機の無人機で運搬する重量あるいは総重量の想定）と機数はどのくらいか。
- 将来的な無人機利用の展開をどう考えるか。
- 無人機の導入形態（購入やリース）とメンテナンス（修理）はどのように考えているか。

※このうち、関係の深い項目。